

[成果情報名]新たに選定した優良乳用供卵牛

[要約] 2015年度に新たに遺伝的能力評価値の得られた11頭の供卵候補牛のうち7頭を選定し、優良乳用供卵牛とする。

[担当]酪農試・乳肉用牛科・内田雄祐

[分類]技術・普及

[課題の要請元]

畜産課

[背景・ねらい]

アメリカから導入した高能力牛および輸入受精卵産子由来の娘牛等について能力検定等を行い、その遺伝的能力評価に基づいて優良乳用供卵牛の選定を行う。選定した供卵牛から生産した受精卵を県内供給し、酪農経営の向上および畜産物の安定供給に資する。

[成果の内容・特徴]

1. 2015年度に新たに能力評価された供卵候補牛11頭のうち7頭を優良乳用供卵牛として選定する(表1、表2)。

2. 選定した優良乳用供卵牛の特徴

○No. 302は総合指数+1,139(全国上位26%)で、産乳能力の耐久性成分が+280(全国上位23%)と優れており、搾乳速度も良好で次世代の改良が期待できる。

○No. 303は総合指数+2,544(全国上位1%)で、産乳能力は乳量や乳代効果に優れており、他の成分も良好である。体型資質は肢蹄および乳用強健性・乳器の得点が高く次世代の改良が期待できる。

○No. 304は総合指数+1,932(全国上位3%)で、産乳能力は乳量や乳代効果に優れており搾乳性も良好である。体型資質は乳器に改良の余地が見られるが、全体としてバランスに優れ次世代の改良が期待できる。

○No. 308は総合指数+1,443(全国上位13%)で、産乳能力は乳量に優れており搾乳速度も良好である。体型資質は、乳用強健性に改良の余地が見られるが、全体としてバランスに優れ次世代の改良が期待できる。

○No. 730は総合指数+1,854(全国上位4%)で、産乳能力は乳量や乳代効果に優れており搾乳性も良好である。体型資質は全体的に小ぶりの牛ではあるものの、分娩難易度に関わる腰角幅が広く次世代の改良が期待できる。

○No. 731は総合指数+1,234(全国上位21%)で、産乳能力は搾乳性に改良の余地が見られるものの、乳量は良好である。体型資質は全体的に小ぶりの牛ではあるものの、分娩難易度に関わる腰角幅が広く次世代の改良が期待できる。

○No. 733は総合指数+1,333(全国上位17%)で、産乳能力は乳量や乳代効果が良好である。体型資質では体貌と骨格・乳用強健性・乳器の得点が高く、胸囲の発育に優れ次世代の改良が期待できる。

[成果の活用上の留意点]

これらの優良乳用供卵牛から生産される受精卵の在庫状況や採卵予定等については常に変動しているので、詳細は酪農試験場まで問い合わせる。

[期待される効果]

優良乳用供卵牛から生産された遺伝的能力の高い受精卵の活用により、県内酪農家牛群の改良が図られる。

[具体的データ]

表1. 選定した優良乳用供卵牛の概要

牛No.	名 号	生年月日	分娩月日
302	ロングヒル ジャニュアリー ホルトン プリムラ	H24.2.19	H26.5.3
303	ロングヒル レオ シャーキー イ	H24.3.12	H26.6.22
304	ロングヒル ファイハートストーリー テイミス	H24.3.14	H26.4.5
308	ロングヒル プラネット ガーター ファイリーナ ET	H24.12.25	H27.2.14
730	ノースフォレスト レオ トーソン アンジエラ	H24.3.25	H26.5.22
731	ノースフォレスト プラネット ホルトン シンフォニー	H24.10.19	H27.1.20
733	ノースフォレスト プラネット タイタニック オーロラ	H25.1.21	H27.3.27

表2. 初産時成績の概要

牛No.	分娩状況			検定成績(305日補正)				搾乳性	
	在胎日数	産子状況	分娩難易	乳量(kg)	乳脂(%)	蛋白(%)	SNF(%)	搾乳速度(kg/分)	前後乳房量比
302	281	雄(F)	易	9,299	4.0	3.6	9.1	2.45	43:57
303	276	雌(F)	易	10,434	4.4	3.6	9.1	2.86	45:55
304	283	雌(F)	易	10,514	3.9	3.5	9.1	2.46	46:54
308	282	雄(F)	易	8,691	4.0	3.4	9.1	1.97	41:59
730	269	雄(F)	易	9,973	4.2	3.5	9.0	2.36	50:50
731	284	雄(F)	易	7,599	4.1	3.4	8.9	4.24	45:55
733	289	雄(F)	易	8,200	4.0	3.0	8.6	2.69	47:53

牛No.	遺伝的能力評価(2015-8)								
	総合指数 (%) (順位)	各成分(%順位)			乳代効果(円)	EBV			
		産乳成分	耐久性成分	疾病繁殖		乳量(kg)	乳脂(%)	蛋白(%)	SNF(%)
302	+1139 (26)	+975 (26)	+280 (23)	-116 (97)	+74,758	+876	-0.12	-0.08	-0.02
303	+2834 (1)	+2544 (1)	+221 (34)	+69 (26)	+118,742	+1175	+0.19	+0.10	+0.70
304	+1932 (3)	+1516 (6)	+340 (14)	+76 (23)	+80,418	+845	-0.01	+0.05	+0.08
308	+1443 (13)	+1393 (9)	+44 (74)	+6 (57)	+71,792	+721	+0.00	+0.07	+0.14
730	+1854 (4)	+1700 (3)	+111 (59)	+43 (38)	+88,193	+925	+0.02	+0.05	+0.06
731	+1234 (21)	+1142 (18)	+102 (61)	-10 (65)	+67,671	+737	-0.07	+0.01	+0.07
733	+1333 (17)	+1151 (18)	+165 (47)	+17 (51)	+70,793	+771	-0.05	-0.01	+0.05

牛No.	発育(24か月齢)				体型得点(初産時)				
	体重(kg)	体高(cm)	胸囲(cm)	腰角幅(cm)	体貌と骨格	肢蹄	乳用強健性	乳器	決定得点
302	589	145	198	51	77	79	78	76	77
303	582	150	195	53	76	80	80	81	79
304	609	147	196	52	80	81	82	78	80
308	569	143	194	53	80	80	79	81	80
730	552	140	190	54	77	77	80	79	78
731	537	141	190	54	78	79	80	79	79
733	559	147	200	53	81	80	81	81	81

[その他]

研究課題名：優良乳用供卵牛選抜事業

予算区分：県単

研究期間：1993年度～

研究担当者：神藤 学、内田雄祐、土橋宏司、鈴木希伊